

神奈川異グ連の活動状況を伝える機関紙 <第112号>

かながわ異グ連ニュース

発行：神奈川県異業種グループ連絡会議（議長 金究武正）
 発行責任者：専務理事(事務局長) 芝 忠 編集担当：宗和 正憲
 〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル5F
 TEL 045-633-5142 FAX 045-633-5194
<http://www.kanagawa-iguren.com>

2012年3月号

【 今月のコンテンツ 】

- 3. 11 震災を振り返って 芝 忠 1
- 企業経営者にお話を聴く（第3回）
サイカヤ・システム・テクノロジー（株） 代表取締役社長 雑賀 政徳 2
- 地域の活性化に取組まれている企業さん紹介
株式会社 横浜ビール 代表取締役社長 太田 久士 氏 3
- 【 厚生労働省等の最新情報 】連載 オフィス 架け橋 松田 健 4
- 異グ連会員グループ・プロジェクト状況 4、5
- 産学官交流サロンコーナー 6
- 事務局コーナー 6

< 3. 11 震災を振り返って >

芝 忠

岩手日報・河北新報・福島民報・福島民友の岩手・宮城・福島の被災3県の地方紙が共同して「特別企画」新聞を出した。震災翌日の3月12日付け朝刊紙のコピーが4枚掲載され、生々しい迫力で迫る。見るのがつらいくらいだ。1年後の復興努力の記事と合わせて編集されており動画とはまた違う迫力だ。国会質問で、野田総理は「風化させてはならない」と言っているが、風化どころか、まだまだ被災者が救われない現状が多々あり、追加の死者も出ている。国家の威信はどんどん低下。税金を上げることしか考えていないと酷評するのは気の毒な気もするが・・・。

我々異グ連も昨年わずかな支援を行い、知事から感謝状をいただいたが、これにとどまらず今後の支援活動を考えたい。又、地域産業の発展に及ばずながら貢献したい。

2012年1月より「スマイルとうほくプロジェクト」がスタートしています
 ～東北に笑顔を広げ、その笑顔を日本中に届ける～ <http://smile-tohoku.jp/>



「スマイルとうほくプロジェクト」とは、東北の3つの新聞社、岩手日報・河北新報・福島民報が手を取りあって、被災地に笑顔を広げ、日本中に東北の元気を発信していこうというプロジェクト。

「県民に笑顔を広げる」というコンセプトのもと、その活動も、花を咲かせる運動はもちろん、写真とメッセージを全国から募集するなど東北の方々に笑顔を広げるために活動中です。



【 企業経営者に話を聴く】

今年の1月より異グ連事務局スタッフ会議の勉強会として「企業経営者の話を聴く」と題し、直面している問題、当面の課題・取引先の状況・行政に対する要望など特にテーマを設けず話を伺い意見交換をしようというものです。今回、第3弾としましてサイカヤ・システム・テクノロジー(株) 代表取締役 雑賀 政徳 (かながわ異グ連、副議長) の話を聞きました。

(第3回)

サイカヤ・システム・テクノロジー(株) 代表取締役 雑賀 政徳

編集部： 宗和 正憲

<http://www.saikaya-system.co.jp/seihinjohou.html>

サイカヤ・システム・テクノロジー (株) は 1979 年 (昭和 54 年) に設立され横須賀の地で 33 年。システム開発を中心に (関連企業、従業員 80 名以上で) 事業展開をしています。環境に感謝し、家族、会社、同僚を愛するという指針の元、クリエイティブな技術で目標に向かう誠実な意志を! という理念に基づき活動中。ドコモの移動体通信開発事業の拠点となる横須賀リサーチパークの立上げ準備に主導的立場で参画するなど次世代通信の中核を担ってきました。システム開発はもちろんの事、OA 機器の取り扱いからネットワーク構築、環境対応機器など現在、幅広く事業を行っています。エンジニア出身だった雑賀社長は 30 代は自分、40 代は (会社、家族) の為、50 代以降は地域に貢献すると決めていた様で現在は色々な地域戦略について手掛けています。こうして人生を歩んで来た雑賀社長は現在、葉山、鎌倉にて陶芸作品を作成中との事。環境さえゆるせば陶芸家の道に進んでみたいと言っています。そんな雑賀社長に今回は地域活性化のプロジェクトの取組の一部について聞きました。

横須賀は三浦半島の地にあります。『夢をつむぐもののふ「三浦一族と横須賀」』というタイトルで現在、横須賀商工会議所で企画、発刊準備中の冊子があります。ここでは平安から鎌倉時代にかけて活躍した三浦一族を題材にしたブランド戦略を展開中です。

この戦略で一役かっているのが雑賀 (サイカ) 社長。歴史に関してはかなり詳しい様子。

それもそのはず、戦国武将、雑賀 孫一の直系でなんと 17 代当主。今回、歴史という観点からの地域活性化ですので雑賀社長の子孫のことについても色々伺いました。

例えば、私たちが良く知っている歴史上の人物、織田信長。彼が鉄砲をいち早く戦争に使い勝利したという事が広く知られていますが実は……。雑賀衆は、(鉄と火薬の技術) に優れ当時、3 千丁もの鉄砲を保有する最強の戦闘部隊でした。(当時世界の使用量は、16,500 丁) そんな織田信長でさえ石山本願寺で苦戦を、強いられた相手だったと記録が残っています。(とても面白い興味深い話でした)

この様な地域活性の起爆剤として歴史上の人物や土地などを活用する取組が近年各地でなされています。最近ではアニメなどでもこの様な戦略を取り入れ、実際にその場所を探しに来るツアーを企画している団体 (自治体) も出てきました。今回は地域活性化についての歴史を活用したブランド戦略について雑賀社長に話を聞きました。次月号では更に踏み込んだブランド戦略についてお伝えします。

次回：第4回 4月2日 山勝電子工業(株) 代表取締役社長 金究 武正(異グ連議長) 講話

< 地域の活性化に取り組まれている企業さん紹介 >

株式会社 横浜ビール 代表取締役社長 太田 久士 氏


<http://yokohamabeer.com/restaurant/index.htm>

<写真>

右：太田社長

左：田尻さん

取材記事 宗和 正憲

かながわ異ゲ連の事務所から徒歩 2 分の場所に「驛の食卓」（うまやのしょくたく）という 2 階建ての雰囲気漂うレストランがあります。入り口を入るとまず目に飛び込んでくるのが大きな光輝くタンク。そこで地ビールが製造されおり店頭販売も行われています。ここは㈱横浜ビールが経営される直営レストランで、手作りビールを媒体とし地元の食材をふんだんに使った料理が提供されています。今回は地域の活性化に寄与できる地場産業をめざしておいでの太田 久士 社長にお話をお伺いしました。

先日、2月9日（木）肉の日に「横浜開牛祭」というイベントが開催されましたのでこの様子を皆様にご紹介します。今回の企画の目玉は「牛」。この牛、ただの牛ではありません。実は横浜ビールで造るビールの製造過程で排出される栄養価の高い麦芽粕を利用して飼育されたものです。今まで麦芽粕は産業廃棄物でしたがそれを活用することで生産者さん側もコストダウンが可能になります。お互いにとってとてもいい話です。又、仲卸さんとのタイアップで丸ごと1頭の仕入れが可能となりました。こうして企業努力を重ね適正な価格で仕入れたお肉は口の中に入れるとすっと切れるほど柔らかな肉質で上質なものです。しかし、これだけでは地域の活性化に寄与しているとは言えません。

実はこだわりはかなりのもので野菜や魚、卵、牛乳、豆腐、調味料（醤油、ごま油、ケチャップ）なども地元食材を活用されています。ですから仕入れ状況に応じメニューも毎日変わります。いいものを使い地域の皆様に「食」を通じ、**自分たちの街の良さに気づいて欲しい**。そんなところが事業展開のコンセプトになっているようです。

自分の街を知り、好きになり、愛情を持って、誇りを持つ。そんなことを発信していくことこそが仕事だと太田社長は言われます。全国の経営者の皆様のお役にたてるのであればということで快く取材に応じて頂きました。ありがとうございました。



ビールに使う原料の麦芽粕再生の様子を説明する太田社長

お肉の肉質は一級品！

地元で採れた新鮮な野菜はそのまま丸かじりでも OK。そこには本来の味はこれだ！と言わせる説得力がありました。「震災以降ますます自分たちの街づくりを意識するようになった」との太田社長の言葉がとても印象的でした。

オフィス架け橋
行政書士 特定社会保険労務士
松田 健

[http://kakehashi-yokohama.
web.officelive.com/shiminhou
mu.aspx](http://kakehashi-yokohama.web.officelive.com/shiminhou.mu.aspx)

【連載 その4】 コヒーブレイク：厚生労働省等の最新情報

【厚生労働省等の最新情報】

① 「65歳までの再雇用義務付け」法案提出へ
労働政策審議会（厚生労働大臣の諮問機関）は、希望する者全員の65歳までの再雇用制度導入を企業に義務付けることなどを盛り込んだ「高齢者等の雇用の安定等に関する法律の一部を改正する法律案要綱」について、「おおむね妥当」とした雇用対策基本問題部会報告を了承し、小宮山厚生労働大臣に答申を行った。厚生労働省では、現在開会中の通常国会に改正法案を提出する予定。

② 年金・税管理の共通番号制度を閣議決定
政府は、「社会保障と税の共通番号制度」に関する法案（マイナンバー法案）を閣議決定した。国民に1人ずつ固有の番号を割り当て、年金や税務申告などの社会保障サービスの利用状況を一元管理するのがねらい。2014年6月に番号を配布し、2015年1月からのスタートを目指す。

③ 「職場のパワハラ」6つに類型化
厚生労働省のワーキング・グループは、職場におけるパワハラ行為の定義を明確にするため、該当行為を6つに類型化（1. 身体的な攻撃、2. 精神的な攻撃、3. 人間関係からの切り離し、4. 過大な要求、5. 過小な要求、6. 個人の侵害）した報告書をまとめた。同省がパワハラ行為の定義付けを行ったのは初めて。かつてない規模とスピードで変化する現代社会にいかに対応していくか。「対応力」を常に磨き高めていかなければ時代を乗り切れなくなっています。

<異グ連会員グループ・プロジェクト状況 >



かながわ産業 Navi 大賞 2012 の募集。大賞賞金 100 万！

- 【募集期間】 平成 24 年 2 月 1 日(水)～4 月 16 日 (月)
- 【対象者】 神奈川県内に事業を有する中小企業者または個人事業者
- 【対象事業】 中小企業が開発した製品・商品・技術・サービスなどで具体的に事業化されているもの
環境問題・保全への取り組みや省資源化に優れているものなど
- 【主催】 (財)神奈川県経営者福祉振興財団
- 詳細はホームページにて <http://www.navida.ne.jp/sangyo/kanagawa/>



【 第 2 9 回異グ連総会予告 】

- 【日 時】 6 月 1 9 日 (火) 午後 2 時～3 時
- 【場 所】 神奈川中小企業センター 6 F 大研修室
- 【記念講演】 3 時 1 5 分～：イムダイン社社長本多伸吉氏による
「ふけない、ぼけない、いつまでも美しく、薬によらない健康法」
- 【懇親会】 5 時 1 5 分から交流懇親会

産学官交流サロンコーナー

	海老名サロン 第12回	西湘サロン 第38回	三浦半島経済人サロン 第49回	神奈川新産学公交流 サロン・横浜 第49回
日程	4月13日(金) 15:00～	5月14日(月) 18:00～20:00 開場は17:30～	3月14日(水) 18:00～20:20 開場は17:30～	4月18日(水) 18:00～19:30
場所	産業技術センター2階2-6 6講義室	小田原市第三区公民館 小田原市栄町1-16-41 (駐車場はありません)	神奈川新聞社 横須賀支社 5階会議室 横須賀市小川町21-9	神奈川中小企業センター5階 会議室 異グ連
連絡先	愛 046-235-5610	異グ連(島津、吉池、)	異グ連(八幡、鶴野)	(織方、岡田、杉本、芝)
内容	プレゼンテーション 1、五光発條 株式会社 村井 秀敏 氏 2、大東化学 株式会社 斎藤 信秋 氏 3、株式会社 さがみはら産 業創造センター 須藤理枝子 氏	「徹底した品質管理体制 経営を語る」 (株)ネオテック 代表取締役社長 伊藤 篤 氏 参加費:1,000円	「大メコン圏における東西 経済回廊の位置づけ」 神奈川県異業種グループ連 絡会議理事(国際担当) 児玉 英二 氏 参加費:1,000円	「保険の基本について」 NSKエンタープライズ 代表取締役 菊地敏幸 氏 参加費:1,000円

尾上町サロン 原則第一・第三金曜日 (17:15～19:30) 神奈川中小企業センター5階 異グ連事務局
自由なテーマで進行(テーマの事前予約OK) 参加費:1,000円 ぶらり参加者大歓迎!!
連絡先: 異グ連(芝、八幡、鈴木)

事務局のコーナー

忘れもしない2011年3月11日。あれからはや1年。「想定外!」この言葉が当時話題となりメディアも大きく取り上げたのは皆様もご記憶があると思います。しかし、それではすまされない!という風潮も世の中に浸透し始め、有事の際は自分たちで何とかするという考えが出てきました。就業中の社員の安全を考える事はある意味企業の責務であると再認識した企業も少なからずある事でしょう。防災対策の中で一番大切なのはまずは水。一人当たり90(3日分程度)は用意が必要と言われています。「備えあれば憂いなし」しっかり準備しておく事で想定外を防ぐことが出来るのです。

「かながわ異グ連ニュース」は多くの皆様方からのご意見や投稿、感想などを頂戴し、情報を共有する事によって**未来へつながる「役立ち情報誌」**となります。お気軽にご投稿下さいませ。お伺いできる範囲であれば取材にもお伺いします。尚、自薦・他薦は問いません。ご意見、感想などあればこちらまでお願いします。 mail masahito@ab.bb-east.ne.jp



神奈川県異業種グループ連絡会議 交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください(無料)

【月】①②④荒 直孝 ③⑤村田和彦 【火】八幡 敬和 児玉 英二 【水】杉本 明子 (芝 忠)
【木】松井 利夫 【金】①③⑤魚崎 誠也 ②④織方盛男 【土、日、祭日】は休業
〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル5階 神奈川異グ連事務局
T/F 045-633-5142/045-633-5194 URL: <http://www.kanagawa-iguren.com> Mail: iguren@kanagawa-iguren.com

より良い紙面にしていくため皆様からの投稿、ご意見をお待ちしております。お問い合わせ、連絡先は下記の通り。

(会報編集担当) mail masahito@ab.bb-east.ne.jp 宗和(そうわ) 携帯:090-5556-8238

神奈川異グ連への連絡問合せは、上記事務局当番者 Tel:045-633-5142 Fax:045-633-5194 まで。